

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式					
E140P005		板書演習 (Blackboard Demonstration Practice)							対面					
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態						
選択必修	1	2	教育学部	後	木5	日本語		単独						
担当教員	氏名 三次徳二													
	E-mail tokuji@oita-u.ac.jp 内線 7723													
授業の概要	この授業では、指導の基本となる板書技能を向上させることをねらいとしている。児童・生徒にとって読みやすい板書とはどのようなものか受講生同士で考え、実際に黒板を用いて板書を作成する。													
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1 板書で読みやすい字について理解し、実際に書くことができる。								○						
目標2 効果的な板書とは何かを考え、その考えを生かして板書を考える。								○						
目標3														
目標4														
目標5														
目標6														
目標7														
目標8														
目標9														
目標10														
各DPへの関連度(計10)								10						
授業の内容														
1	ガイダンス, グループ分け/チョークを用いた試し書き													
2	ひらがな, カタカナ, 数字を書く													
3	漢字を書く(基本的な漢字)													
4	漢字を書く(複合的な漢字)													
5	漢字を書く(間違いやすい漢字)													
6	線を引く, 図や表を書く													
7	文字群を書く(縦書き, 横書き)													
8	小学校の漢字の書き順を確かめる													
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														
ラーニング	A:知識の定着・確認	○	演習(全員で黒板に字を書き、学生相互で評価をしよう)					工	そ 夫 の 他 の					
	B:意見の表現・交換	○												
	C:応用志向													
	D:知識の活用・創造													
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修	テキスト内容の事前の通読(4h)、事前説明動画の視聴・学習した内容の整理(6h)												
	事後学修	最終レポートの作成(4h)、授業後レポートの作成(9h)												
	想定時間合計	23												
教科書	「プロの板書 基礎編」 剣持勉著, 教育出版, 2014年978-4-316-80425-5													
参考書	指定しない													

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10
	最終レポート		20%	○	○								
	授業当日の振り返りシート		80%	○									
注意事項	第1回の授業の際、練習する字について指示するので、授業前には各自で練習してから臨むこと。授業で練習する字は教科書の一部なので、それ以外の字も各自で練習して欲しい。この授業は演習科目であるため、各自が自主的に取り組むこと。												
備考	木曜日5限の時間帯を使用する。（合計8コマ）												
リンク													
	URL												
担当教員の 実務経験の有無	○												
教員の 実務経験	高等学校の教員												
教員以外で 指導に関わる 実務経験者の有無	○												
教員以外 の指導に関 わる実務経 験者の有無	小学校の教諭												
実務経験を いかした教 育内容	教員経験を活かし板書の指導をする												